

2025年度 3歳児年間カリキュラム

3歳児の発達の特徴	排泄	食事	睡眠	衣服の着脱	清潔	運動機能	表現活動	人とのかかわり	言葉	概念形成
	促されなくても尿意を感じたら、ひとりでトイレに行き、パンツを全部脱いで排泄するようになる。	右手と左手が同時に違う動きができるようになると、片手で食器を持ち、箸を使って食事をするようになる。	午睡前、周囲の状況が見えてくるようになり、気持ち落ち着けて静かに午睡できるようになる。	帽子や服の前後、靴の左右に注意するようになり、脱いだ衣服を表に返すことができるようになる。	食事、排泄、戸外遊びの後、両手をこすり合わせて洗うことができるようになる。自分で鼻をかむようになる。	腕を振りながら、早く走るようになり、合図で急にストップしたり、曲がったりすることができるようになる。	手や指を使って素材に触れたり、道具を使い始めたりする。	他者意識し始め、「僕が」「私が」と自己主張が強くなってくる。	「僕」「私」などの1人称や「あなた」などの2人称が使えるようになる。	今、目の前にない物を、言葉でイメージができるようになり、象徴機能が高まる。
	生活の見通しがもてるようになり、食事前、午睡前、何かの活動をする前、散歩に行く前、散歩に出る前など「おしっこをしておこう」と自分で判断したり、保育者に促されて排泄を済ませたりするようになる。ほとんどの子どもがトイレで排泄するが、足腰の発達に個人差があり、和式便器での姿勢がとれない子どもも見受けられる。個別の対応が必要。	菜園の世話をしたり、収穫の喜びを感じたり、クッキングに参加したり、積極的に食事の手伝いをするようになる。手先の器用さがまし、食事の時には食材に応じてスプーン、フォーク、箸の食具を自分で選んで食べられるようになる。配膳の1がわかって並べたり、食器の大きさを分類して片付け足りして、発起の大きさを分類して片付けたりして書体的に当番活動をするようになる。	3歳になると、夜中に目覚めて、ぐずらなくなり、一晩中ずっと眠るようになる。全体の睡眠時間が11時間ほどになる。午睡時間になると、友だちが寝ようとしているのがわかり、自分から「眠い」と訴える子どもも出てくるようになる。	握力がしっかりしてきたり、体のバランスが取れてきたりするなど、運動機能の発達と関連して、ズボンの後ろを腰まで引き上げてくれるようになる。上着を前から後ろへかぶって方へ掛け、片手ずつ通してひとりでかけられるようになったりする。促されて遊びの場に適した衣服の調節を使用する。また、教えられて衣服を畳めるようになる。	手洗いは、保育者の指示通り、丁寧にしようとする。戸外遊びの後はガラガラがい、食後のブクブクうがいを区別してするようになる。汚れた時、汗を書いたとき、嫌がらずに顔を洗うことができる。片方ずつ鼻を抑えて嘔むことができる。不十分ながら、食後歯みがきをすることができる。	3歳になると、歩く、走る、跳ぶ、上などの基本的な運動機能が目に見えて巧みになる。土踏まずが形成され始め、あおり動作（つま先で地面を蹴り、かかとで着地する）の動きができるようになるため、歩く姿もスッキリとする。指先の分化が小指側から親指側へ進み、指先に力を込めて物をつかんだり、握りこんだりする動作がスムーズになる。	なぐり描きから形へと表現が質的な変化を遂げる発達達の節に当たる時期。イメージも豊かになり言葉として表現できたり、描画表現においても大・小の丸や防戦を組み合わせたりできるようになる。3際後半には、最初の人物が登場します。◎から直接手と足がでる「頭足人」が描けるようになる。	3歳になると、友だちを求めるようになち、気の合ったグループができる。その関わりの中で簡単なルールのある遊びを体験し、ルールを守り、仲間と関わる面白さを学んでいく時期。当番としての仲間への世話、大人の手伝いをして喜ばれる事で誇りをもつようになる。	友だちとの交流に必要な簡単な日常言葉を使用し、他人の意思や要求を理解するようになる。「なぜ?どうして?」などの質問が多くなり、外界の物事に感性んが広がります。言葉の獲得と同時に、イメージが広がり、絵本を好んだり、ごっこ遊びが多様になったりする。	身近な人、物など経験をして知っている事についてイメージがもてるようになり、絵本や物語に興味を持つ。虚構を主としたごっこ遊びが盛んになります。数誌は3つまでが実数と一致してわかるようになる。大・小・多・少が比較できるようになり、言葉でもいえるようになる。
	見て見て自分で	お友達大好き	なんでも触って	おしゃべりだいすき		うさぎさん		「いれて」「だめよ」	「わたし」「あなた」	
	食事、排泄、衣服の脱ぎ着、手洗など基本的生活習慣がほぼ自分でできるようになる。認めてもらうことで自信を持つようになる。	周りの子どもに興味を持ち始める。大人との関わりから子ども同士の関係に広がっていく、気の合う友達ができると活発に遊ぶようになる。	土・水・砂などの自然物や、身近な動物昆虫などに恐れを持たず関心を寄せ見たり触ったり触れられたりして好奇心を発揮するようになる。	語彙が増え、自分の思いを言葉で話すようになる。			リズムを聞き分けて身体で表現したり歌ったりする。ウサギになって2拍子で跳ぶ、馬になってギャロップで走る事ができるようになる。	初めての集団生活では、人と関わることの楽しさを知る一方、戸惑いや葛藤を味わうこともある。	イメージが豊かになり、ごっこ遊びなどで、言葉によるやりとりを楽しむ。「わたし、あなた」などの一人称や「あなた」などの二人称を使うようになる。	
経験させたい内容	具体的な活動・	規則正しい生活リズムをつける(早寝・早起き) オムツがとれ、自分で排尿できる。	お箸を自分で使用しようとする。食器の片付け方がわかり自分でする。 ①同じ食器に重ねておく ②食器を大きいものを下に、上にむかって小さい食器を重ねておき、運ぶ事ができる。 ③ナフキンを畳んで、袋にしまい、ランドセルに入れる事ができる。 朝の支度・帰りの支度が一人でできるようになる。	自分で荷物を持つとうとする。衣服の裏返しを元に戻そうとする。自分で遊んだものを片付けようとする。 前ボタン・スナップボタンの掛け外しができる。	外で泥んこ遊びを嫌がらずにできる。 袖をまくって自分で手を洗う事ができる。	・ボールを2mほど転がすことができる。 ・ボールを両手で受け取ることができる。蹴ることができる。 ・マットなどの上で横転できる。 ・平均台などの高さがある台を一人でのぼり、渡り、降りる事ができる。 ・鉄棒に20秒ほどぶら下がる。 ・音楽に合わせて、歩く、走る、止まる・ギャロップができる。 ・簡単な手遊びができる。 ・ハサミを正しく持ち、5cmび直線を切る事ができる。 ・糊を指でとり、紙に伸ばして塗ることができる。 ・折り紙を半分に折る事ができる(▲・■) ・閉じた○□が描ける ・顔の部分が理解でき、描くことができる。	・友だちに興味を持ち、隣に来ても抵抗なく遊べるようになる。 遊びの中で必要な言葉が使える。(いれて・貸して・どうぞ、ちょうだい・ありがとう) 公共の場でのマナーを意識する。(静かにする。走らないなど)	・名前年齢・簡単な質問に答えることができる。 ・名前を呼ばれて返事ができる。 ・相手の目を見て話す・聞くことができる。日常の挨拶ができる。 ・具体的な物をさわり、言葉で表現する。(硬い・柔らかい・ふかふか・ザラザラ)	・形の名称が分かる(△・○・□) ・色(赤・青・黄色・桃色・橙・ミドリ・黒・茶・白)がわかる ・動物の名称と鳴き声が一致する。 ・野菜、果物、乗り物、身近な品物の名称がわかる ・体の身体の部分の名称がわかるようになる ・簡単な絵本の内容が暗記できる ・大きい・小さい・短い・長い・太い・細い、高い、低い 重い、軽いが理解できる。 位置(上・下・真ん中・後ろ・前・横)が分かるようになる。	